

ペーロンは苓北（天草）の宝です

【雲仙天草国立公園 天草地域指定70周年記念】
2026年（令和8年）第38回苓北じゃっと祭

第38回 天草苓北ペーロン大会

大会要項 競技規則

苓北町の伝統行事「ペーロン」を後世に守り継ごう！

この大会は、

選手関係者の熱い心と大会関係者の
献身的なボランティアで開催されています。

苓北じゃっと祭・富岡城お城まつり実行委員会

ペーロン委員会

【雲仙天草国立公園 天草地域指定70周年記念】
2026年（令和8年）第38回 苓北じゃっと祭
天草苓北ペーロン大会要項

- 1 目的 伝統文化の継承や地域住民の結束並びに体力づくり及び町内外の交流さらには青少年の健全育成を目的とし、地域への経済効果や観光振興及び地域活性化に寄与する。
- 2 日時 令和8年 7月19日（日）
- ①選手集合 午前7時30分（各々、控えテント等へ集合して待機）
②整列完了 午前7時55分 ※ 百間土手前広場
③開会式 午前8時00分
④競漕開始 午前9時00分
⑤競漕終了 午後1時05分（速やかに閉会式会場に整列すること！）
⑥閉会式 午後1時20分
⑦終了 午後1時40分（見込み）
- 3 会場 熊本県天草郡苓北町富岡港 「巴湾」
- 4 主催 苓北じゃっと祭・富岡城お城まつり実行委員会（町内約30団体等で組織）
「ペーロン委員会」
- 5 主管 天草苓北ペーロン協会、苓北町商工会、苓北町商工観光課
- 6 補助金 苓北町・熊本県企業局・熊本県港湾協会（苓北じゃっと祭全体）
- 7 協賛金 町内外企業約180社見込及び個人（苓北じゃっと祭全体）
- 8 協力 九州大学付属天草臨海実験所、（有）西庄丸砂利、
苓北町老人福祉センターほか
- 9 競技種目 ①男女混成 チャンピオンシップの部
②男女混成 フレンドシップの部
③男女混成 ファミリーの部
- 10 登録人員 ①チャンピオンシップの部は、監督及び交代選手を含め選手全員を登録する。
②フレンドシップの部は、監督及び交代選手を含め選手全員を登録する。
③ファミリーの部は、監督及び交代選手を含め選手全員を登録する。

（注）舵取り（練習時及び大会当日）は、各チームで確保して下さい。
（注）各種目に、重複登録も可能とする。
（注）大会運営のためチームから1名のご協力をお願いします。

【傷害保険】※登録選手及びスタッフは下記補償内容の保険に加入する。
補償内容以上の補償は実行委員会では行えません。
大会当日のみ有効。練習時は各チームで対応すること。

死亡・後遺障害	1人あたり	300万円
入院	1人あたり	4,000円/日
通院	1人あたり	2,000円/日

※大会運営スタッフのお願い について

苓北町のペーロンは、1670年代に長崎市から伝来したと言われており、今年で伝来から約355年になります。平成元年に今のペーロン大会が完全復活し、今年で第38回目の大会を迎えることとなりました。これも、大会運営のために携わっていただいている役員・関係者の皆様方のご尽力のおかげでございますが、近年、役員・関係者の高齢化が顕著であり、大会運営スタッフの確保に大変苦慮している状況となっており、苓北町の伝統行事であります「ペーロン大会」の運営スタッフの育成・担い手の確保が、急務な状況であります。

このような情勢のため、今回町内の各出場チームより、「1名ずつ」の大会運営スタッフの選出及び大会の運営について、ご協力をお願いすることといたしました。

事情をご理解の上、町内各チームご協力下さいますようお願いいたします。

- 1.1 乗員 ①チャンピオンシップの部は、太鼓叩き1名・銅羅叩き1名・アカ汲み1名・舵取り1名・漕手18名（男性9名・女性9名）の合計22名とする。
（注）特例として女性の漕ぎ手不足の観点から、大会当日満55才以上の男性を女性とみなします。（但し、2名を限度とする）
- ②フレンドシップの部は、太鼓叩き1名・銅羅叩き1名・アカ汲み1名・舵取り1名・漕手14名以上18名以内（男女の比率は自由）の合計22名以内とする。
ただし、中学生以上とする。
（注）参加チームの都合上、漕手が全て男性や女性であっても出場可能とする。
- ③ファミリーの部は、太鼓叩き1名・銅羅叩き1名・アカ汲み1名・舵取り1名・漕手14名以上18名以内（男女の比率は自由、成人〔保護者等〕と小学生の混合）の合計22名以内とする。※ 但し、漕手全員が小学生のみでも構わない。
（注）太鼓叩き1名・銅羅叩き1名・アカ汲み1名は、大人で可能
- 1.2 競技距離 全種目 行き300m・帰り200m（往復 500m）
- 1.3 漕路 4コース以内で行う。
- 1.4 チーム表示 レース出場時に主催者が用意した表示板を船に立てる。
- 1.5 競技方法 ①チャンピオンシップの部は、予選（1・2回戦）はタイムレースとし、どちらか1レースのタイム上位4チームが決勝戦に進出する。
②フレンドシップの部は、予選（1・2回戦）はタイムレースとし、どちらか1レースのタイム上位4チームが決勝戦に進出する。
③ファミリーの部は、予選（1・2回戦）はタイムレースとし、どちらか1レースのタイム上位4チームが決勝戦に進出する。
（注）監督会議でレースのコース抽選を行う。
- 1.6 参加料 町内からの参加チームのみ1チーム5,000円とする。
- 1.7 申込先 苓北町商工観光課 担当：武林
〒863-2503 熊本県天草郡苓北町志岐660
TEL 0969-35-3332、FAX 0969-35-1197
メール kankou@town.reihoku.lg.jp
苓北町商工会 担当：西
〒863-2502 熊本県天草郡苓北町上津深江4535-2
TEL 0969-37-1244、FAX 0969-37-1245
メール ksrei@cap.bbq.jp

- 18 申込方法 参加申込書及び練習計画表を提出
- 19 申込期限 令和8年6月5日（金）必着（FAX可）
- 20 日程変更 小雨決行
但し、暴風雨、豪雨等により競技に支障があると判断したときには、状況により大会前日の午前10時までか、当日の午前7時までに監督者へ通知する。
当日競漕不可能の場合は、延期するか中止するか今後協議する。
- 21 表彰 ①3つの部門とも、優勝・準優勝・3位に楯と賞状・のぼり旗、4位に楯と賞状を授与する。

※フレンドシップの部、ファミリーの部については参加チームごとで、漕手の男女の比率、成人（保護者等）と小学生の比率が等しくないが、その点を十分理解の上、参加申し込みをして下さい。

※漕ぎ手の比率に対する不服申し立ては、一切認めない。

- 22 経費の負担 ①町内出場チームに参加奨励金（練習費用助成金）を支給する。
②大会当日の昼食費は、参加者の負担とする。
③大会会場までの交通費及び宿泊費は、参加者の負担とする。
- 23 その他細則 ①前日設営・大会当日の事故については、人命優先に応急処置を主催者で行うが、以後は保険の範囲内で行う。
②大会当日の保険は、主催者側で一括加入する。
③競技用艇及び太鼓・銅羅・舵は、主催者で準備する。
イ 櫂は、各自所有のものを持参することもできる。
ロ 大会当日の舵取りを必要とするチームには主催者で準備するので、申し出ること。但し、舵取人の指名は出来ない。
ハ 太鼓のバチ（桐製に限る）は各チームで準備すること。
④競技規則は別に定めるとおり。
⑤会場図は、例年通り。監督会議で配布します。
⑥組合せ及びコース抽選は、監督会議・抽選会 6/26（金）19:00「商工会」で行う（予定）（参加チームには、改めて通知します（県外は除く）。）
初戦のみ抽選で、以後は組合せ表に決められたとおりとする。
但し、決勝戦のコース抽選は当日行う。なお、町外参加チームは、事務局において抽選する。
⑦組合せ表及び選手名簿は、大会当日受付にて代表者に配付する。
⑧小学生には、安全上、参加者全員に救命胴衣を着用させる。（義務）
他、希望者にも着用させる。練習時も同様です。
⑨選手宣誓（チーム）は、監督者会議で決定する。
⑩漕ぎ手が不足する場合には、空席は極力最小限にとどめるようお願いします。
⑪選手はレース開始予定時間の10分前までにはペーロン倉庫内へ集合し、チームごと一列に整列すること。違反した場合は失格とする。
⑫その他の事項については、ペーロン委員会事務局までお尋ね下さい。

練習期間中の事故等については、本委員会は責任を持たないので、各チームで対応してください。

※練習時間は、原則45分としますが、混雑時は30分とします。
各チーム譲り合い等ご協力をお願いします。

※練習時等における道路への路上駐車は禁止です。旧富岡鉄工所跡地、百閒土手前港湾施設もしくは砂利置き場（西庄丸 様）等をお願いします。

※タバコ、ペットボトル、ごみ等は各自責任をもって持ち帰ること。

【雲仙天草国立公園 天草地域指定70周年記念】
第38回 苓北じゃっと祭
天草苓北ペーロン大会競技規則

- ① 櫂の寸法は、自由とする。
- ② 折り返しは、ブイを左廻り（ひかえ廻り）とする。
- ③ スタートは、スタート地点からのロープを船尾に固定し（ロープに付いている「輪」を「ボン木」に掛ける）、スタートを待つ。
このとき、船尾に固定したロープがいっぱい伸びきった時、船首がスタートラインに揃うようになっている。この間、選手は、櫂を水面上に上げて待つこと。
但し、最前列の2名の選手は、艇の方向維持のため櫂を水中におろしていることができる。

※艇の方向維持のため、海面のスタートロープを手繰り、スタートを待って下さい。

- ④ スタートの合図は、『笛の合図で、櫂を上げ・・・』の後、チェックの旗を下げる。
- ⑤ スタートの合図と同時に、船尾に固定しているロープ（輪）を外し、スタートする。
- ⑥ スタートのやり直しは、赤旗を振るので、太鼓叩きは十分に注意すること。
- ⑦ レース中に事故等が発生し、レースが続行出来なくなった艇は、太鼓を乱打するとともに、選手全員が櫂を上方にあげて合図すること。
- ⑧ ゴールは、船首の白いサラシの先端が、ゴールラインに達した時とする。
- ⑨ 順位は着順により決定し、タイムは参考記録とする。ただしタイムレースにおいては、この限りではない。
- ⑩ **審判に対する判定の不服申し立ては一切認めない。その判定は、最終のものとする。**
- ⑪ 折り返しの時、ブイの内側を廻った場合及びブイの旗を海面に押し倒した形で廻った場合は、最下位とする。
- ⑫ 接触・衝突などが発生した場合は、加害チームのみを失格とし、レースのやり直しはしない。
- ⑬ コース妨害と思われる事態が発生した場合は、必要に応じ、スタート地点審判・折り返し審判・本部審判・決勝審判等で協議をし、判定をください。
- ⑭ ゴール後は全ての艇が左回りで旋回する。
但し、状況に応じ（危険回避）舵取りの判断するところとする。
- ⑮ 練習時の駐車場。「ペーロン倉庫駐車場、旧富岡鉄工所跡地、百間土手前港湾施設、砂利置場など」
道路への路上駐車は絶対に行わないで下さい。
- ⑯ 練習後の後片付け。ペーロン船の舵、栓抜き、船の整列及びペットボトル等の各自での回収。
船体及び舵は必ず水道水で水洗いして下さい。